

問1.

【0002】

子供にとって歯科医を訪れることほど不快な経験は稀である。治療による現実的な不快感、はっきりと感じられる悪臭、ドリルのかん高い音に加え、歯周用スケーラー、エキスカバーター、手持ち式の切削器具などの異様な形状により、大抵は、歯科医院における悪夢のような経験として、根深い印象が残される。したがって、大人になった後ですら、潜在意識に刷り込まれた、治療により感じられる不快感が、当座の治療に対する必要性を上回ってしまうと考えられる。そのため、多くの人は歯科医の予約を取ることを先延ばしすることが常となり、結果として、最終的には歯を失う場合すらある虫歯が放置され、患者は必要以上に痛みを苦しむことになる。

【0003】

歯科医術において用いられるドリル及び物質は、大きく進歩してきたが、こうした手持ち式器具の形状は、以前同様、不気味なままである。この主な要因は、これらの器具に特徴的な遠位端の湾曲や角度が、作業のために実際に機能上最適なものであるからである。特許文献1では、口内に入るまではこうした形状が子供の視界に入らないように、先端に球状の覆いを有する、外観的に好ましい小児用歯科用器具を開示している。歯科医又は歯科衛生士は続いて、必要に応じ、切削、又は研磨などに移ることができる。しかしながら、この覆いは、十分に格納することができず、治療を行う者の視界を妨げてしまう傾向がある。

問2.

【0055】

静電潜像が形成される感光ドラムの表面が摩耗し過ぎることを防ぐため、潤滑剤供給機構が設けられる。この潤滑剤供給機構は、感光ドラムに液状潤滑剤を供給することにより、感光ドラム表面の摩擦係数を小さくする。この機構は、供給用ローラ20の形態で主に実現される。この供給用ローラ20は、支持部材21上に形成された潤滑剤を収容するリザーバ層22と、リザーバ層22の外側の外層23と、を有する。支持部材21は、本実施形態では銅製のロッドであるが、これに限定されるわけではなく、金属、金属合金、プラスチック、セラミック、ガラス、又はこれらの任意の組み合わせによって形成されていてもよい。

【0056】

リザーバ層22は、多孔質のエラストマーマトリクスであり、直径10～20 μ mの細孔を有する。これらの細孔は、供給ユニット（図示せず）から感光ドラムの表面へと潤滑剤を輸送する役割を果たす。外層23は、細孔を有するエラストマー材料であり、これら

の細孔は、リザーバ層 2 2 の細孔よりも実質的に小さい。

【 0 0 5 7 】

ここで、潤滑剤の粘度は、温度により非常に大きく変化し得ることから、供給用ローラ 2 0 の材料の物性、細孔の大きさ、密度、及び分布などは、温度にかかわらず供給量が一定かつ均一となり得るように、注意深く設計される必要がある。

問 3 .

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

複数の離間配置された細長い縦方向構造要素（1 4、2 1）が、1 つ以上の細長い横方向構造要素（1 2）に相互接続されて、構造骨組を形成する形式の、客車の側壁フレーム組立を構築する方法であって、

必要な長さ及び断面形状の前記構造要素を形成する工程と、

続いて、縦方向構造要素と横方向構造要素との間の各相互接続箇所に対し、前記要素のうち的一方に、変形部（2 5）を設ける工程であって、

前記変形部（2 5）は、変形工具部を有する工具により、前記相互接続箇所において他方の構造要素を位置決めするためのものであり、

前記工具部と前記一方の構造要素との相対位置は、前記一方の構造要素の長さに沿って前記変形部（2 5）の位置を変更可能であるように、調整可能である、工程と、

続いて、前記変形部（2 5）により位置決めされた前記他方の要素により、前記変形部（2 5）において、前記各要素が 1 つに相互接続される工程と、を含む、方法。